

三鷹福音教会



礼拝式次

所属について

三鷹福音教会は、1998年に設立されたカルヴァン主義の教団、改革主義福音連盟 (Communion of Reformed Evangelical Churches) に所属しています。

聖餐式について

本教会では、毎週聖日礼拝にて、パンとぶどう酒を用いて聖餐式を執り行っております。他の教会の会員の方でも、三位一体のみ名によって洗礼を受けられていて、陪餐停止になっていない方は、年齢を問わず、どなたでも一緒に主の聖餐におあずかりください。まだ洗礼を受けていない方はご遠慮ください。

献金について

礼拝の後半で献金を行いますが、任意です。入場料や会費のようなものではございません。

昼食について

礼拝後に昼食を用意しております。どなたでもご自由に是非ご参加ください。

相談について

以下のような理由で牧師にご相談されたい場合は、直接お声がけいただくか、info@mitakachurch.com までメールにてご連絡ください。

- 祈って欲しいことがある
- キリスト教のことを知りたい
- 洗礼を受けることを考えている
- ある罪と格闘している
- 結婚前カウンセリング、または結婚カウンセリングを受けたい
- 教会で奉仕をしたい

もくとう
黙禱

しょうし
招詞

司式者 み父、み子、み霊の名によって。

会衆 アーメン

司式者 主があなたがたと共にありますように。

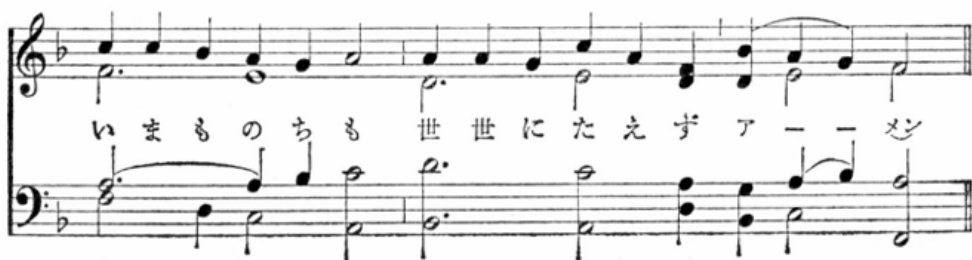
会衆 あなたと共にありますように。

司式者 「主の家に行こう。」と人々が言ったとき、私は喜びました。

会衆 エルサレムよ。私たちの足は、あなたの門のうちに立っています。

司式者 私たちの助けは主のみ名にあります。

会衆 天地を創造された方。



黙禱 — 静かに神を礼拝する備えをする。

体勢 — 私たちは心と体のすべてをもって神を礼拝するため、「起立」「着席」「跪坐」といった指示があるが、いつでも必要に応じて、自分の体調や事情に合わせて、無理のない姿勢で過ごして良い。例えば、赤ちゃんを抱いている場合、または腰痛がある場合など、いつでも座ったままでいても構わない。

起立

招詞 — 神はご自身のみ言葉と聖礼典（聖餐式）を通して命をお与えになるために、天にあるご自分の家へ私たちを招いてくださる。（ヘブル12:18-24、出エジプト19:16-24、24:1-11）

三位一体のみ名 — この後続く礼拝が、単に人の行ないだけではなく、三位一体の神のみ名においてすべてが行われることを示す。つまり、礼拝において、父、子、聖霊である神ご自身が、人を通して働く。

小栄光頌（「父、み子、み霊に」） — 神のみ前に出た礼拝者たちは、父と子と聖霊の栄光を仰ぎ見、それを賛美する。

つみ 告白 罪の告白

司式者 さあ、伏し拝み、ひれ伏しましょう。

会衆 私たちを造られた方、主のみ前にひざまずきましょう。

跪坐 (起立)

司式者 主よ。あなたの大きな怒りで私を責めないでください。

会衆 あなたの激しい憤りで私を懲らしめないでください。

司式者 神よ。み恵みによって、私に情けをかけ、

一同 あなたの豊かな憐れみによって、私のそむきの罪をぬぐい去ってください。どうか私の咎を、私から全く洗い去り、私の罪から、私をきよめてください。まことに、私は自分のそむきの罪を知っています。私の罪は、いつも私の目の前にあります。私はあなたに、ただあなたに、罪を犯し、あなたの御目に悪であることを行いました。それゆえ、あなたが宣告されるとき、あなたは正しく、さばかれるとき、あなたはきよくあられます。ああ、私は咎ある者として生まれ、罪ある者として母は私をみごもりました。

司式者 憐れみ深い父なる神よ、

一同 私たちは、してはならないことをし、しなければならぬことをせず、思いと、言葉と、行いによって、多くの罪を犯しています。どうか罪深い私たちをお赦してください。新しい命に歩み、み心に従い、み栄を表わすことができますように、救い主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

もくとう 黙禱

つみ ゆる せんげん 罪の赦しの宣言

司式者 主よ、あなたは怒るのにおそく、慈しみに富み、咎とそむきを赦すが、罰すべき者は必ず罰して、父の咎を子に報い、三代、四代に及ぼすお方です。始めから今に至るまで赦して下さったように、どうか私たちの咎をあなたの大きな恵みによってお赦してください。

会衆 アーメン

司式者 あなたがたは主のことばどおりに赦されます。

会衆 アーメン

罪の告白 — 礼拝に先立ち、自分の罪を具体的に思い起こし、告白の備えをしておく。そして、ここで、その罪を神のみ前に短く告白する。

罪の赦しの宣言 — 牧師は、洗礼を受け、真心から悔い改めた者に、キリストの十字架によって与えられる神の赦しを宣言する。礼拝者が神の家に入ると、神はその足を洗ってくださる(ヨハネ 13:10)。

司式者 平安のうちに、主に祈りましょう。

会衆 主よ、憐れみをお与えください。

司式者 上よりの平安のために、私たちの救いのために、主に祈りましょう。

会衆 キリストよ、憐れみをお与えください。

司式者 世界の平和のために、神の教会の幸いのために、すべてのものの一致のために、主に祈りましょう。

会衆 主イエス・キリストよ、憐れみをお与えください。

司式者 この聖なる家のために、信仰と、敬虔と、神への畏れをもって礼拝と賛美をささげる者のために、主に祈りましょう。

会衆 主よ、憐れみをお与えください。

司式者 神よ、み恵みによって私たちを助け、救い、守り、憐れんでください。

会衆 アーメン

司式者 主があなたがたと共にありますように。

会衆 あなたと共にありますように。

司式者 心を神に。

会衆 主に心を献げます。

司式者 主なる神に感謝しましょう。

会衆 感謝と賛美は私たちの務めです。

司式者 聖なる父、永遠にいます全能の神よ、いかなる時にも、み子イエス・キリストによって主に感謝し、賛美するのは、正しく喜ばしいことです。み子は、み父の生けるみ言葉です。み子によってみ父は初めに万物を造り、御自分のかたちに似せて私たちを造られました。み父は、み子を人として生まれさせ、十字架の死と復活によって私たちを罪の軛から解放し、み子を御自身の右に挙げられました。聖霊によって、私たちを神の民としてみ前に立たせ、主の祭司として主とすべての人々に仕えるようにしてくださいました。ゆえに、私たちはみ使いおよび天の全会衆と共に、主の尊いみ名を崇め、常に主をたたえて歌いましょう。

「主よ、憐れみをお与えください」— 私たちは赦され、清められた民として教会と全世界のための執り成しの祈りを捧げる。この古代からの祈りの言葉は、旧約聖書の詩篇や福音書に基づいている(詩篇123:3、マタイ20:30-31)。

「心を神に」— 「主に心を献げる」(詩篇25:1、哀歌3:41)ことで、私たちは天に向かってより高く昇り、主ご自身に近づく。

着席

聖なる聖なる聖なるかな万軍の

かみ主の栄光てん地にみてり、いと高き

ところにホーサナ主の御名によりてきたるものは、さち

なるかないと高きところにホーサナ

だいとう
代祷

ことばせんきょう
み言葉宣教

起立

司式者 イスラエルよ聞け。われらの神、主は唯一の主である。私はあなたをエジプトの国、奴隷の家から連れ出した、あなたの神、主である。

一同 あなたには、私のほかに、ほかの神々があつてはならない。自分のために偶像を造つてはならない。それらを拜んではならない。

それらに仕えてはならない。

あなたの神、主のみ名をみだりに唱えてはならない。

安息日を覚えて、これを聖なる日とせよ。

あなたの父と母を敬え。

殺してはならない。

姦淫してはならない。

盗んではならない。

あなたの隣人に対し、偽りの証言をしてはならない。

すべてあなたの隣人のものを欲しがつてはならない。

三聖頌（「聖なる」）

— 私たちは神にさらに近づき、そのみ座の前に進むとき、天と地にある天使と聖徒の合唱に加わる。永遠の「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな」（イザヤ6:3、黙示録4:8）を歌い、私たちの王であるイエス・キリストをたたえる。

代祷 — これからみ言葉を通して示される神のみ心が、教会と全世界において行われるよう祈る。私たちは祭司として、大祭司であるイエス・キリストのみ名により、すべての人のために執り成しを捧げる（1テモテ2:1-8）。特に自分たちの隣人と地域社会のために祈る（エレミヤ29:7）。

み言葉宣教 — 主日ごとに旧約聖書、詩篇、書簡、福音書から4つの朗読がある（1テモテ4:13）。ここで、神は永遠のいのちの言葉を私たちに語り、あらゆる善き業に備えさせてくださる（2テモテ3:16-17）。

十戒と律法のまとめ — 十戒はモーセの契約におけるすべての律法の要約である。それらはさらに二つの大なる戒めにまとめられる。なぜなら、パウロが述べるように、「愛は律法の全うである」（ローマ13:10）。

司式者 ^{こころ}つ ^{おも}つ ^{ちから}つ ^{ちせい}つ
心を尽くし、思いを尽くし、力を尽くし、知性を尽くして、あなたの
^{かみ} ^{しゅ} ^{あい}
神である主を愛せよ。あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。

着席

朗読者 ^{きゅうやくせいしよ} ^{ろうどく}
旧約聖書からの朗読。

^{きゅうやくせいしよ} ^{ろうどく}
旧約聖書からの朗読

朗読者 ^{かみ} ^{ことば}
神のみ言葉。

会衆 ^{しゅ} ^{かんしゃ}
主に感謝します。

^{しへん} ^{こうどく}
詩篇からの交読

朗読者 ^{しとしよ} ^{ろうどく}
使徒書からの朗読。

^{しとしよ} ^{ろうどく}
使徒書からの朗読

朗読者 ^{かみ} ^{ことば}
神のみ言葉。

会衆 ^{しゅ} ^{かんしゃ}
主に感謝します。

朗読者 ^{しゅ} ^{かんしゃ} ^な ^よ ^{もと}
主に感謝して、み名を呼び求めましょう。

^{かいしゅうさんび}
会衆 賛美 [1]

朗読者 ^{ふくいんしよ} ^{ろうどく}
福音書からの朗読。

^{ふくいんしよ} ^{ろうどく}
福音書からの朗読

朗読者 ^{しゅ} ^{ふくいん}
主の福音。

会衆 ^{しゅ} ^{えいこう}
主キリストに栄光がありますように。

^{しんじょう}
ニケア信条

一同 われは、^{ゆいいつ} ^{かみ} ^{ぜんのう} ^{ちち} ^{てん} ^ちとすべて見ゆるものと見えざる
^{つく} ^{ぬし} ^{しん}
ものの造り主を信ず。

われは、^{ゆいいつ} ^{しゅ} ^{しん} ^{しゅ} ^{よよ} ^{さき} ^{ちち} ^う
唯一の主イエス・キリストを信ず。主は世々の先に父より生ま
^{かみ} ^ご ^{かみ} ^{かみ} ^{ひかり} ^{ひかり}
れたる神のひとり子、神よりの神、光よりの光、まことの神よりのま
^{かみ} ^{つく} ^う ^{ちち} ^{どうしつ} ^{ばんぶつ} ^{しゅ}
ことの神、造られずして生まれ、父と同質であり、万物は主によりて
^{つく} ^{しゅ} ^{われ} ^{じんるい} ^{われ} ^{すく} ^{てん} ^{くだ}
造られたり。主は我ら人類のため、また我らの救いのため、天より下
^{せいれい} ^{おとめ} ^{にくたい} ^う ^{ひと} ^{われ}
り、聖霊によりて処女マリヤより肉体を受け、人となり、我らのため
^{じゅうじか} ^{くる} ^う ^し
にポンテオ・ピラトのもとに十字架につけられ、苦しみを受け、死に
^{ほうむ} ^{せいしよ} ^{みつかめ} ^{てん} ^{のぼ} ^{ちち} ^{みぎ}
て葬られ、聖書にしたがい三日目によみがえり、天に昇り、父の右に
^ざ ^い ^{もの} ^し ^{もの} ^{えいこう}
座したまえり。また生ける者と死にし者とをさばくために、栄光を
^{ふたた} ^き ^{くに} ^お
もって再び来たりたまわん。そのみ国は終わることなし。

われは、^{しゅ} ^{あた} ^{せいれい} ^{しん} ^{せいれい} ^{ちち} ^こ ^い
主にしていのちを与えし聖霊を信ず。聖霊は父と子とより出
^{ちち} ^こ ^{とも} ^{れいはい} ^{あが} ^{よげんしゃ} ^{かた}
で、父と子と共に礼拝され、崇められ、また預言者によりて語りたま
^{えり}。

われは、^{ゆいいつせい} ^{こうどう} ^し ^{きょうかい} ^{しん} ^{つみ} ^{ゆる}
唯一聖にして、公同なる使徒の教会を信ず。われは罪の赦し
^{ゆいいつ} ^{せんれい} ^{しんにん} ^{ししや} ^{きた} ^よ
のための唯一の洗礼を信認す。われは死者のよみがえりと来るべき世

詩篇 — 詩篇は神の靈感により教会に与えられた賛美歌集である。歴史的に、交互に応答しながら歌われ(エズラ3:11)、神が働き、人が応答するという契約的な型を示している。

起立

福音書 — 福音書の朗読においては、主イエス・キリストご自身が特別に私たちに語りかけられるので、私たちは立ったまま、注意と尊敬を払う。

信条 — ニカイア=コンスタンティノーブル信条(381年)は、すべての正統的キリスト教会に共通する信条。父と子と聖霊への信仰を告白し、天地創造からキリストの到来、そして再臨と永遠のみ国に至る世界の物語を語る。朗読されたみ言葉に対し、私たちは信仰を告白する。また、この信条を毎週唱えることにより公同の教会の信仰が一つであることを証しする。

のいのちを待ち望む。アーメン

司式者 「みことばはあなたの近くにある。あなたの口であり、あなたの心にある。」これは私たちの述べ伝えている信仰のことばのことです。なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。

着席

説教

平和の挨拶

司式者 主の平和があなたがたと共にありますように。

会衆 あなたと共にありますように。

献金

司式者 み名にふさわしい栄光を主に帰し、供え物を献げましょう。

起立

会衆 賛美 [2]

感謝の祈り

着席

司式者 聖なるみ心を成就し、私たちの救いを成し遂げるために、私たちの主イエス・キリストは苦しみを受ける前日、パンを取り、感謝し、これを裂き、弟子たちに与えて言われました。「取って食べなさい。これはあなたがたのために与える私のからだである。私の記念のため、これを行いなさい」。

食事ののち、杯をも同じようにして言われました。「取って、飲みなさい。これは罪のゆるしのため、あなたがたと多くの人々のために流す私の血における新しい契約である。私の記念のため、これを行いなさい」。

主が来られるその時まで、このパンを食べるごとに、この杯から飲むたびに、私たちは主の死を告げ知らせるのです。

会衆 キリストは死に

キリストはよみがえり

キリストは再び来られます。

説教 — 古代より、み言葉の朗読の後にはその意味の解き明かしが続いた(ネヘミヤ8:7-8、ルカ4:16-21)。説教は、み言葉がいかにキリストを自分と世界に示すかを明らかにし、聖霊が今ここで自分に語っておられることを理解する助けとなる(使徒8:30-31)。

平和の挨拶 — ここから聖餐の典礼が始まる。司式者は会衆と簡潔に平和の挨拶を交す。これは聖餐に備えて、み国の状態を求める行為である(マタイ5:22-24)。神に受け入れられるために罪の告白が必要であるように、兄弟との和解も必要である(1ヨハネ2:9-10)。ここですべての兄弟と和解する機会はないが、平和の挨拶は、互いへの赦しと愛を思い起こさせるしるしである。

献金 — 私たちは自らの生涯を全て神に捧げることを示すため、献金をパンとぶどう酒と共に祭壇に置く。神から与えられた恵みへの感謝を表す。

司式者 このパンとぶどう酒をもって私たちのためにささげられた主のいのちを私たちは記念します。主の復活の証しを信じ、主が再び来てくださり、大いなる約束の祝宴を私たちと共にして下さる日を待ち望みます。

会衆 アーメン。主よ、来てください。

司式者 今あなたの聖霊を、復活の主の霊を送ってください。主のからだと血とを受ける私たちがあなたの栄光を賛美し、すべての聖徒たちと共にみ国を受け継ぐことができるようにしてください。

会衆 アーメン。聖霊よ、来てください。

司式者 すべての栄光と賛美が、教会において、キリストにより、聖霊と共におられるあなたに世々限りなくありますように。

一同 アーメン！

司式者 主キリスト・イエスが教えられたように祈りましょう。

一同 天にまします 我らの父よ、

願わくはみ名を崇めさせたまえ。み国を来たらせたまえ。

みこころの天に成るごとく、地にも成させたまえ。

我らの日用の糧を今日も与えたまえ。

我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。

我らを試みに会わせず、悪より救い出したまえ。

国と力と栄えとは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

ばいさん 陪餐

司式者 私たちがパンを裂くとき、

会衆 キリストの身体に与ります。

司式者 私たちが杯を祝福するとき、

会衆 キリストの血に与ります。

司式者 パンが一つであるから、

会衆 私たちは多くいても、一つの身体です。

制定文 — 牧師は最後の晩餐におけるキリストの行いを思い起こし、パンとぶどう酒の上で主ご自身の言葉を繰り返す。そのとき、私たちは聖なる時に入り、過去にあったキリストの十字架を記念し、また未来にある子羊の婚宴の前味に与る。

聖霊の祈願（聖霊よ） — 聖霊のみ力によってキリストがパンとぶどう酒にあって私たちのうちに臨み、私たちがキリストと一つになり、造り変えられるために、聖霊の働きを祈る。

大いなるアーメン — 会衆は、ここまでささげられたすべての祈りを喜びをもって肯定し、神の驚くべき恵みを祝い、大きな声で「アーメン！」と唱和する(詩篇20:5、106:48、黙示19:1-6)。

主の祈り — 心を聖餐に備える祈りである。また、聖餐はこのすべての祈願に対する答えである。ことに、私たちが「日ごとの糧」のために祈るとき、み父は私たちに永遠のいのちのパン、主イエス・キリストご自身を賜物としてお与えになる。

世のつみをのぞく

かみの子ひつじよ、

(1,2)あわれみをおあたえください
(3)主の平安を

神の民のための神の賜物。

司式者 あなたのために与えられた主イエス・キリストの体。

陪餐者 アーメン

司式者 あなたのために流された主イエス・キリストの血。

陪餐者 アーメン

洗礼を受けた人たちに、パンとぶどう酒が分け与えられる

聖餐後の祈り

一同 永遠にいます全能の神よ、この聖餐に与った者を、み子イエス・キリストの尊い身体と血をもって養ってくださることを感謝します。主はこれによって、私たちがみ子の身体の肢体であり、み国の世継ぎであることをいよいよ明らかにしてくださいました。天の父よ、私たちはみ子によって、心も体も生きた供え物として献げます。どうか、聖霊によって私たちをこの世に遣わし、み旨を行う者とならせてください。栄光は世々に限りなく、父と子と聖霊にありますように。
アーメン

神の子羊（アニュス・デイ） — バプテスマのヨハネの言葉(ヨハネ1:29)を反響する、過越の子羊として十字架にかけられたイエスの犠牲を黙想する賛歌である。

配餐 — 聖餐は私たちのキリストとの結合が新たにされる礼拝の頂点である。三位一体のみ名により洗礼を受けているすべての者（陪餐停止になっている者を除く）は、聖餐を受けるように招かれる。

聖餐後の祈り — 受けたばかりの恵みに感謝し、その恵みが私たちのうちに、また私たちを通して力強く働くよう祈る。

① 主 - よ た ま え へ い わ を -
 ② 主 よ た - ま え -
 ③ 主 よ た - - - ま え

主よ、たまえ平和を — 天にあるエルサレムは平和の都である。そのために、「神の子羊」の最後にくる祈りを繰り返し捧げる。

主 - - よ - た ま え や - す き を
 わ れ ら に へ - い わ を
 わ れ ら に へ - い わ を

しゆくとう
祝 祷

司式者 ^{しゆ}主があなたがたと共にありますように。
 会衆 あなたと^{とも}共にありますように。
 司式者 ^{しゆ}主のみ名はほむべきかな。
 会衆 ^{いま}今も^よ世々に^{かぎ}限りなく。
 司式者 ^{しゆ}主があなたを^{しゆくふく}祝福しあなたを^{まも}守られるように。^{しゆ}主が^{かお}み顔をもつてあなたを^て照らし、あなたを^{めぐ}恵まれるように。^{しゆ}主が^{かお}み顔をあなたに向け、あなたに^{へいあん}平安をたまわるように。

祝 祷 — 礼拝の終わりに、神の民が平安と力のうちに去ることができるように、神は民を祝福する（サムエル記下 6:18）。同様に、ほとんどの書簡、そして聖書そのものも、祝祷をもって終わる（2コリント 13:14、黙示録22:21）。

ア - メン ア - メン ア - - - メン

2026.05.24

改革主義福音連盟 三鷹福音教会

主任牧師ベン・ゼデク・スミス、名誉牧師ラルフ・スミス

〒180-0013 東京都武蔵野市西久保1-12-2

050-1809-3920 info@mitakachurch.com